

# 最近の雇用情勢について

(令和7年10月)

青森労働局

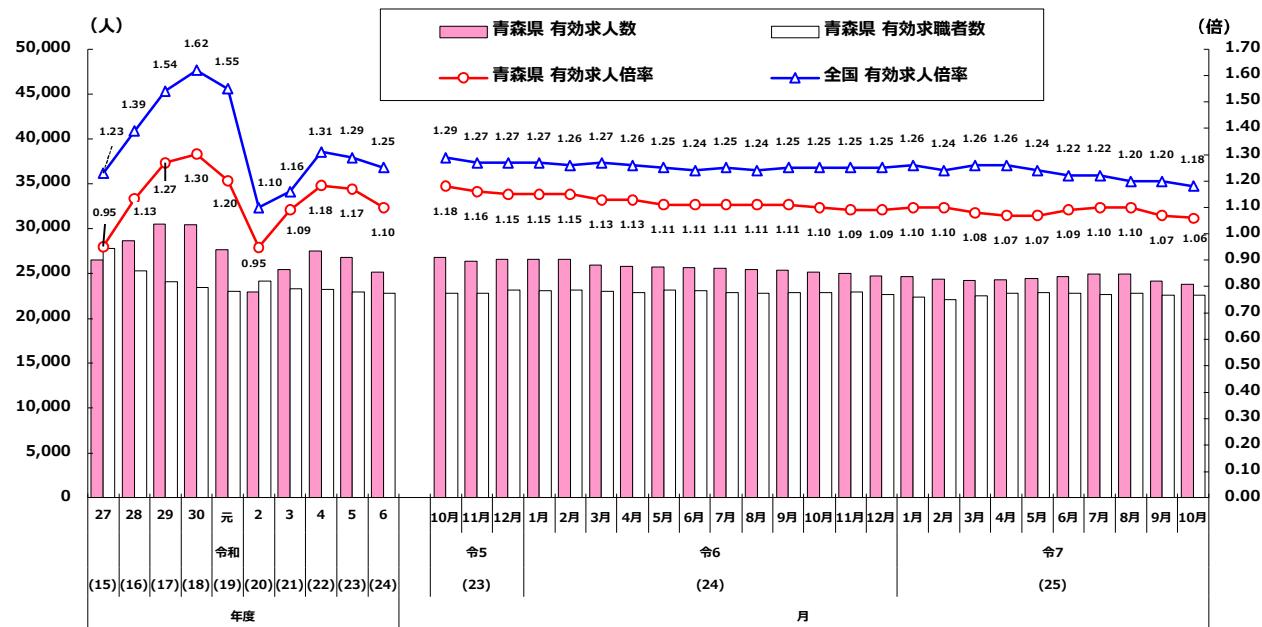
## I 受理地別求人倍率の推移(季節調整値)…年度平均は原数値

職業安定部

10月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ1.4%（348人）減少の23,816人、有効求職者数(同)は前月に比べ0.1%（18人）減少の22,563人で、有効求人倍率(同)は1.06倍となり前月と比べ0.01ポイント低下した。

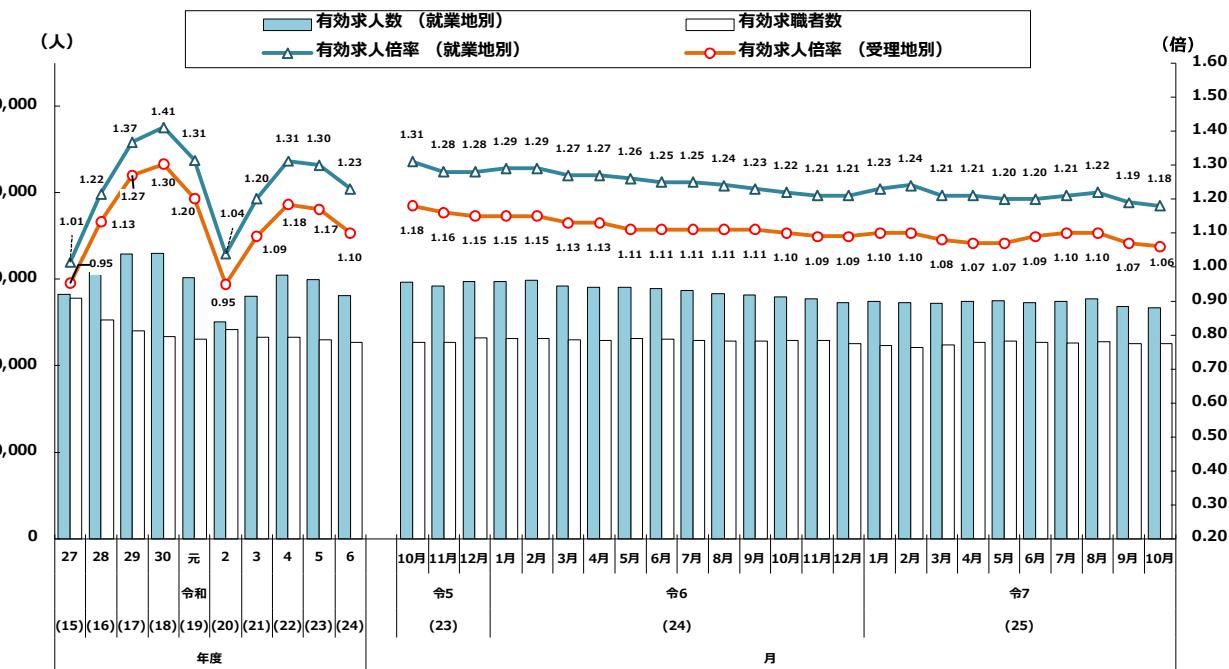
就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は1.18倍で前月と比べ0.01ポイント低下し、受理地別の倍率を0.12ポイント上回った。

### 受理地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

### 就業地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



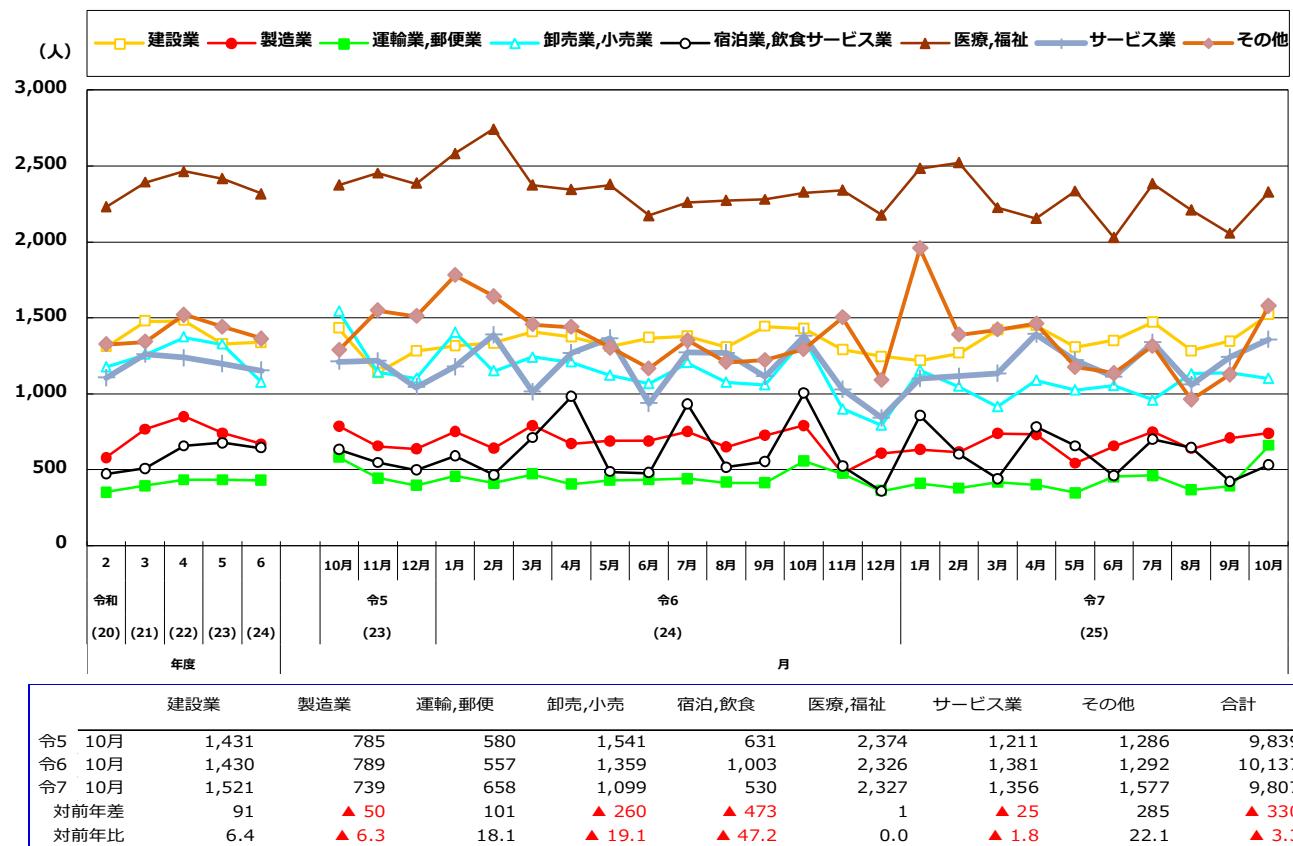
全国のハローワークで受理した求人で、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。  
就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

(注)季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、令和6年12月以前の数値は、令和7年1月分公表時に新季節指数により改定されている。

## II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

10月の新規求人件数(原数値)は前年同月比3.3%(330人)減少の9,807人。

主要な産業の新規求人件数(原数値)をみると、前年同月との比較で製造業、卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業及びサービス業で減少し、建設業及び運輸業、郵便業及び医療、福祉で増加した。なお製造業のうち、繊維工業、業務用機械器具製造業、輸送用機械器具製造業等で減少し、鉄鋼業、非鉄金属製造業等で増加した。

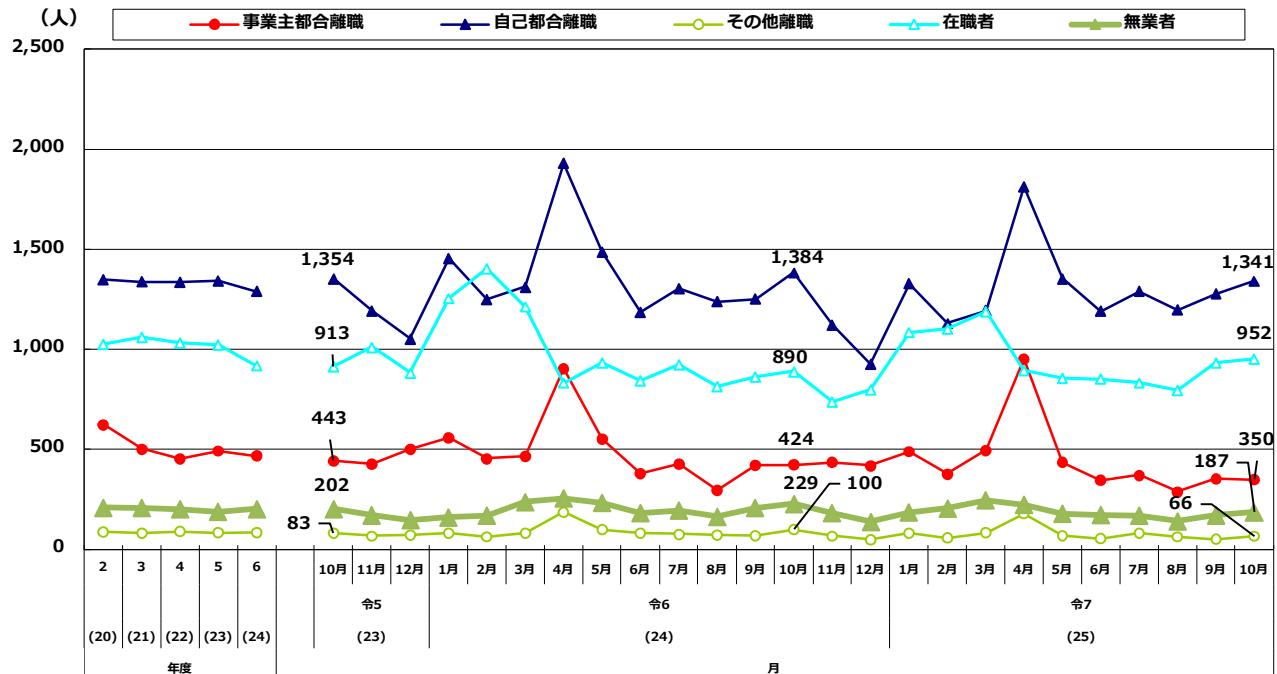


## III 新規求職の状況(パートを除く常用)

10月の新規求職者数(パートを除く常用・原数値)は、前年同月比4.3%(131人)減少の2,896人。

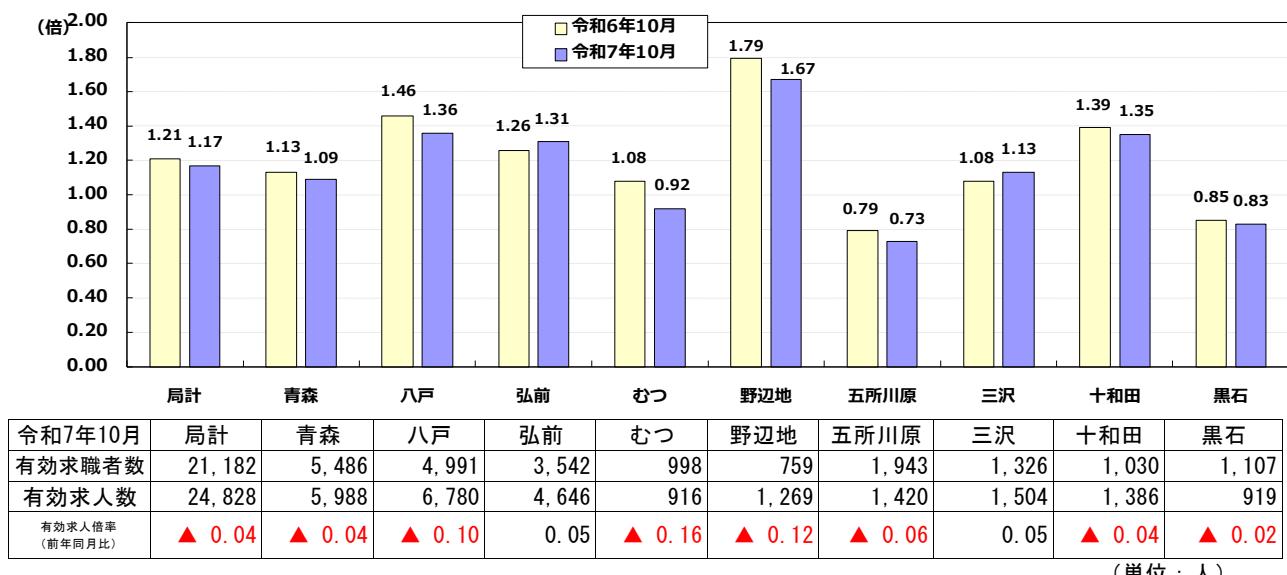
区分ごとに前年同月と比較すると、在職者は7.0%(62人)増加の952人、離職者は7.9%(151人)減少の1,757人、無業者は18.3%(42人)減少の187人であった。

離職理由別では、事業主都合離職は前年同月17.5%(74人)減少の350人、自己都合離職は前年同月3.1%(43人)減少の1,341人、その他離職(自営廃止等)は前年同月34.0%(34人)減少の66人であった。



#### IV 安定所別有効求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数…原数値)

10月の局計の有効求人倍率（原数値）は1.17倍となり、前年同月より0.04ポイント低下した。  
各安定所の有効求人倍率は次のとおり。



#### V 雇用保険の状況

10月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比0.5%（28人）増加、前月比では3.7%（224人）減少の5,755人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比10.9%（166件）減少、前月比では6.4%（81件）増加の1,356人となった。※受給資格決定件数は速報値であり、修正の可能性があり得る。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合は、前年同月比23.1%（63人）減少、前月比7.9%（18人）減少の210人となった。

